

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公表番号】特表2012-530459(P2012-530459A)

【公表日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2012-516138(P2012-516138)

【国際特許分類】

H 04 B 10/2581 (2013.01)

【F I】

H 04 B 9/00 2 6 8

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信ネットワークに用いられる多モード光ファイバーの選択の方法において：複数の多モード光ファイバーの異なる半径を通り進むパルスのピーク遅延の測定と；各多モード光ファイバーの第1の半径でのピーク遅延を各多モードファイバーの第2のより大きい半径でのピーク遅延からの減算と；第1の半径でのピーク遅延を第2の半径でのピーク遅延から減算した結果が負の数である光ファイバーの通信ネットワークでの使用の為の選択とを備える方法。

【請求項2】

前記第1の半径が $5\text{ }\mu\text{m}$ で前記第2の半径が $19\text{ }\mu\text{m}$ である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の半径が $5\text{ }\mu\text{m}$ で前記第2の半径が $20\text{ }\mu\text{m}$ である請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1の半径及び前記第2の半径が 14 から $15\text{ }\mu\text{m}$ 離れている請求項1に記載の方法。

【請求項5】

通信ネットワークに用いられる多モード光ファイバーの選択の方法において：複数の多モード光ファイバーの異なる半径を通り進むパルスのパルス遅延の測定と；各多モード光ファイバーの第1の半径でのパルス遅延を各多モードファイバーの第2のより大きい半径でのパルス遅延からの減算と；第1の半径でのパルス遅延を第2の半径でのパルス遅延から減算した結果が負の数である光ファイバーの通信ネットワークでの使用の為の選択とを備える方法。

【請求項6】

前記第1の半径が $5\text{ }\mu\text{m}$ で前記第2の半径が $19\text{ }\mu\text{m}$ である請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記第1の半径が $5\text{ }\mu\text{m}$ で前記第2の半径が $20\text{ }\mu\text{m}$ である請求項5に記載の方法。

【請求項8】

前記第1の半径及び前記第2の半径が 14 から $15\text{ }\mu\text{m}$ 離れている請求項5に記載の方法。